

米国小型株グロース・ファンド (愛称：ダイヤの原石)

<3392>

追加型投信／海外／株式
日経新聞掲載名：ダイヤの原石

第10期 2024年8月15日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第10期末	基準価額	12,551円
	純資産総額	9,194百万円
第10期	騰落率	△0.9%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0339220240815◇

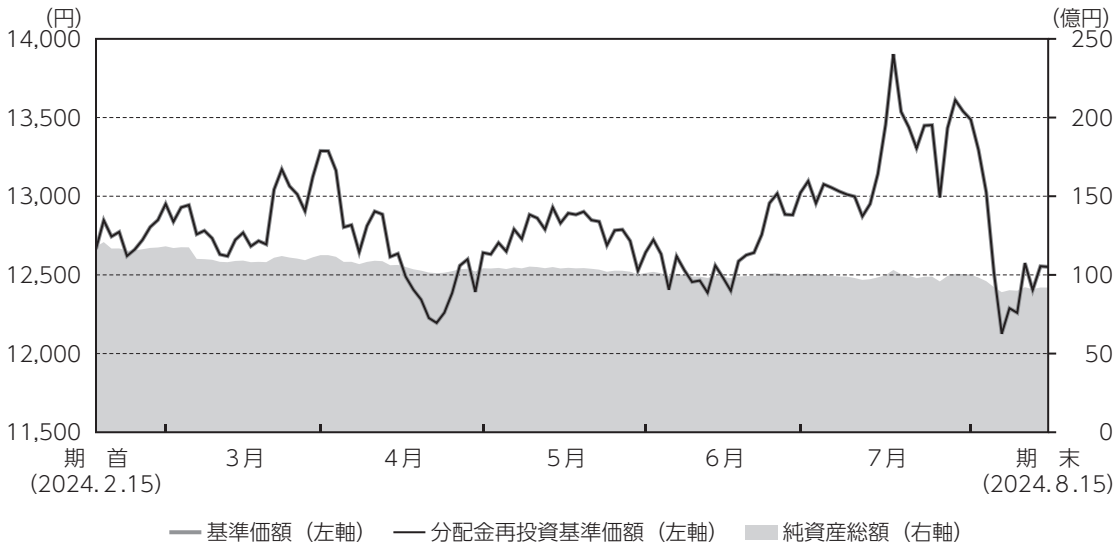
「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：12,664円
期 末：12,551円（分配金0円）
騰落率：△0.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国小型株式市況が上昇したことはプラス要因となりましたが、為替が円高米ドル安となったことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

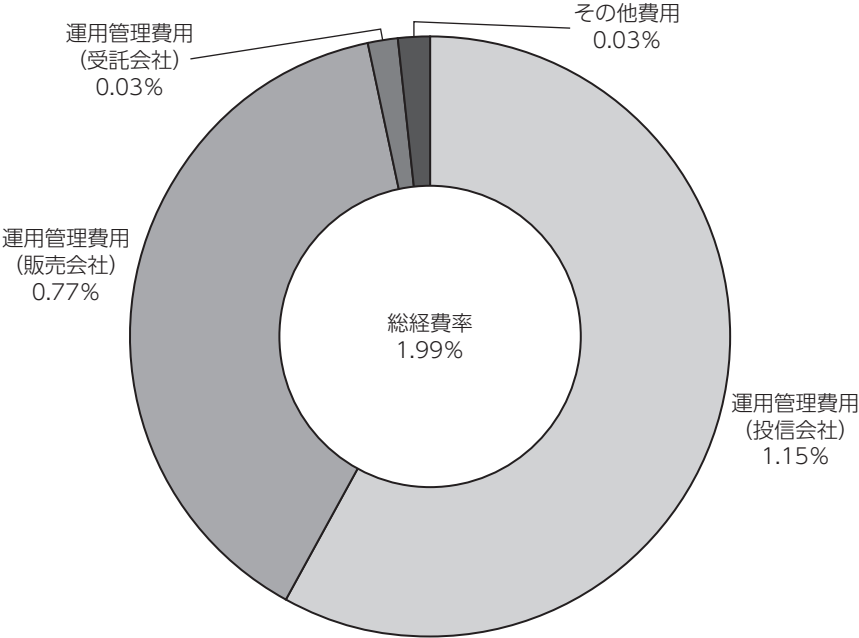
項 目	当期 (2024.2.16~2024.8.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	125円	0.974%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,814円です。
(投 信 会 社)	(74)	(0.574)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0.035	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.035)	
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	2	0.017	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.006)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	132	1.026	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

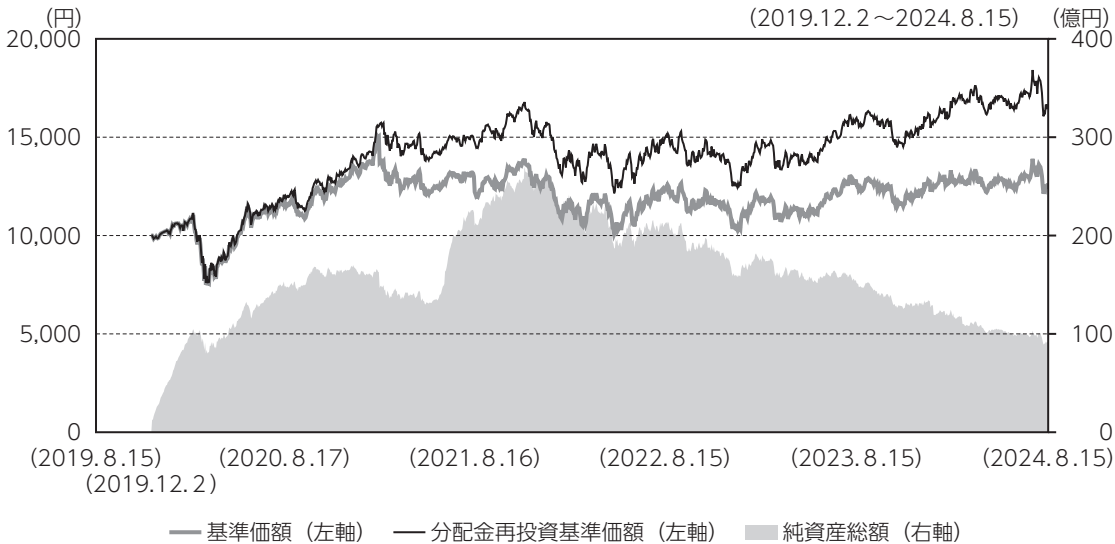
■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



	2019年12月2日 設定	2020年8月17日 決算日	2021年8月16日 決算日	2022年8月15日 決算日	2023年8月15日 決算日	2024年8月15日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,537	12,217	12,351	12,641	12,551
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	400	2,100	20	550	600
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	19.5	23.4	1.3	7.1	4.0
純資産総額 (百万円)	1,278	14,814	21,000	21,170	15,193	9,194

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。
(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

投資環境について

(2024. 2.16~2024. 8.15)

■米国小型株式市況

米国小型株式市況は上昇しました。

米国小型株式市況は、当作成期首より、製造業の景況感が改善したことやAI（人工知能）関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、上昇して始まりました。しかし2024年4月に入ると、インフレ再燃への懸念から米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。その後はしばらく横ばい圏での推移が続きましたが、7月上旬には、インフレ低下傾向が鮮明になり利下げ期待が再び高まったことで、大きく上昇しました。8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから、景気の先行きに対する不透明感が強まり急落する局面もありましたが、その後は、景気減速懸念と利下げ開始期待による乱高下が続き、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドルは対円で下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安が進みました。その後、過度な円安米ドル高進行に対し政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし、日銀が2024年7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことから、7月以降は大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調は継続しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「米国小型株グロース・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■米国小型株グロース・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドでは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。景気はソフトランディングするとの見通しのもと、これまでと同様に、競争力を維持でき、バランスシートが健全な企業に投資することが重要だと考えます。このような企業が、やがてインフレがおさまリ、経済が成長に向かうタイミングでは良好なパフォーマンスを生むと考えています。長期的な視点で、競争優位性をより精査して投資していきたいと考えています。

ポートフォリオについて

(2024. 2. 16～2024. 8. 15)

■当ファンド

「米国小型株グロース・マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率は高位を維持しました。

■米国小型株グロース・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託しております。当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。業種では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターなどを高位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年2月16日 ～2024年8月15日	
当期分配金（税込み）	（円）	－
対基準価額比率	（％）	－
当期の収益	（円）	－
当期の収益以外	（円）	－
翌期繰越分配対象額	（円）	2,656

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- （注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



今後の運用方針

■当ファンド

「米国小型株グロース・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■米国小型株グロース・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドでは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。景気はソフトランディングするとの見通しのもと、これまでと同様に、競争力を維持でき、バランスシートが健全な企業に投資することが重要だと考えます。このような難局に耐えた企業が、経済が成長に再び向かうタイミングで力を発揮すると考えています。長期的な視点で、競争優位性を精査して投資していく方針です。



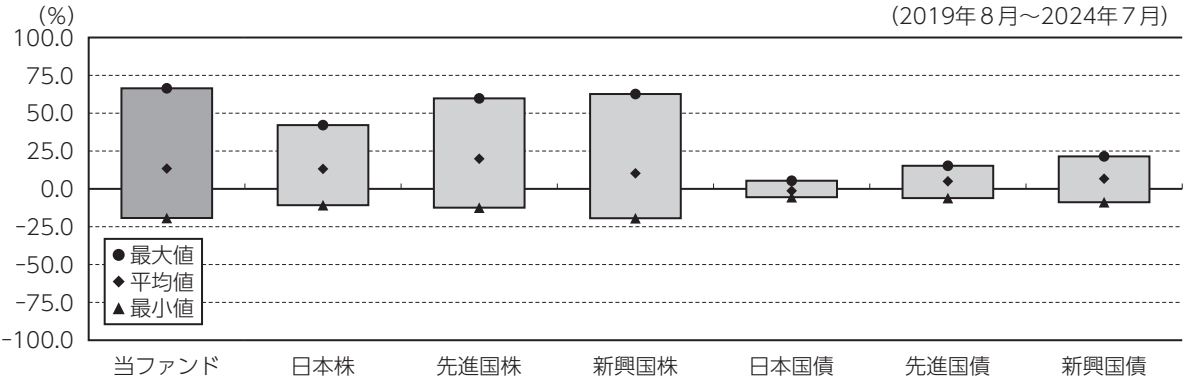
当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2019年12月2日～2050年8月15日	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主 要 投 資 対 象	ベビーファンド	米国小型株グロース・マザーファンドの受益証券
	米国小型株グロース・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）
マザーファンドの運用方法	①主として、米国の小型株式等の中から競争優位性があり、高い利益率を長期に亘り維持できる企業を厳選し投資することにより、信託財産の成長をめざします。 ※当ファンドにおける米国の小型株式とは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式のうちケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが時価総額をもとに小型と判断した銘柄を指します。 ※一部小型株式に該当しない銘柄に投資します。 ②ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行なうことを基本とします。 イ. 定量的スクリーニングや業界分析等を通じて、調査対象銘柄を選定します。 ロ. 調査対象銘柄に対して徹底的なファンダメンタルズ分析を行ない、企業の持つ競争優位性や経営陣の評価、資本効率等を考慮して投資候補銘柄を選定します。 ハ. 業種分散、銘柄分散を考慮してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019年8月～2024年7月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	66.4	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
平均値	13.4	13.2	19.9	10.3	△1.3	5.0	6.7
最小値	△19.3	△10.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月分さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みT O P I X

先進国株……………M S C I コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………M S C I エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………N O M U R A - B P I 国債

先進国債……………F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みT O P I Xの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●M S C I コクサイ・インデックスおよびM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I Inc.（「M S C I」）が開発した指数です。本ファンドは、M S C Iによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C Iは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●N O M U R A - B P I 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



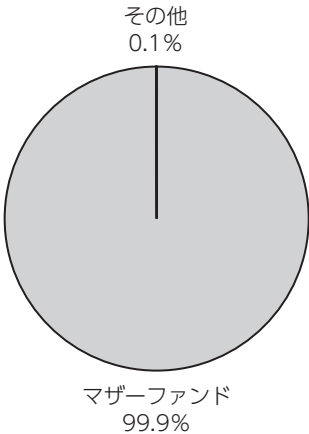
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

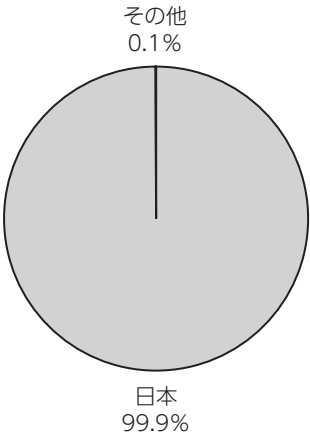
組入ファンド等

	比 率
米国小型株グロース・マザーファンド	99.9%
その他	0.1

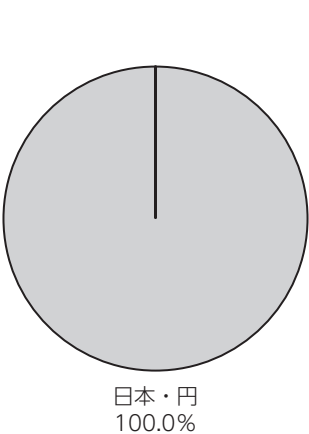
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注 1) 上記データは2024年8月15日現在のものです。
(注 2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注 3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

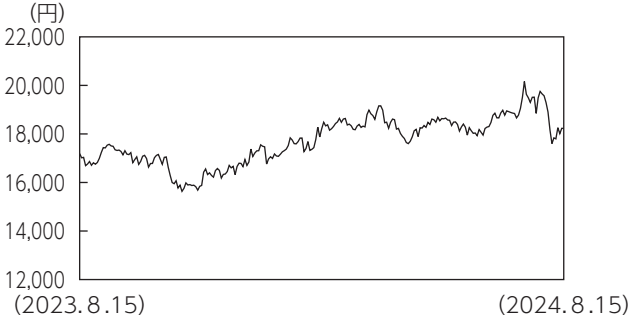
項 目	当 期 末
	2024年8月15日
純資産総額	9,194,441,990円
受益権総口数	7,325,892,237口
1 万口当り基準価額	12,551円

* 当期中における追加設定元本額は544,117,736円、同解約元本額は2,525,280,371円です。
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆米国小型株グロース・マザーファンド（作成対象期間 2023年8月16日～2024年8月15日）

■基準価額の推移



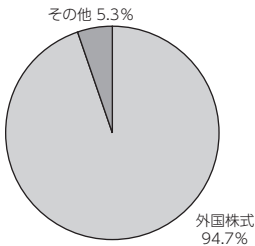
■1万口当りの費用の明細

項 目	
売買委託手数料 (株式)	11円 (11)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	7 (2) (5)
合 計	18

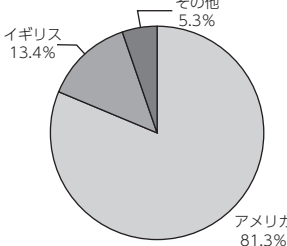
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
RYAN SPECIALTY HOLDINGS INC	アメリカ・ドル	8.9%
MORNINGSTAR INC	アメリカ・ドル	7.8
AAON INC	アメリカ・ドル	7.4
AUTO TRADER GROUP-UNSP ADR	アメリカ・ドル	6.6
SERVISFIRST BANCSHARES INC	アメリカ・ドル	5.2
NCINO INC	アメリカ・ドル	4.9
ENERPAC TOOL GROUP CORP	アメリカ・ドル	4.7
GOOSEHEAD INSURANCE INC -A	アメリカ・ドル	4.3
TRIUMPH FINANCIAL INC	アメリカ・ドル	4.3
RIGHTMOVE PLC-UNSP ADR	アメリカ・ドル	4.3
組入銘柄数	27銘柄	

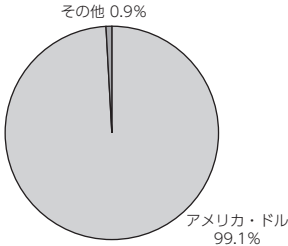
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。